

25 日ガス工第 9 号
2025 年 4 月 28 日

LP ガス販売事業者殿
全国 LP ガス協会殿
関係 LP ガス団体殿

日本ガスメーター工業会
石油ガスメーター部会



ガスメーターにおけるセンター遮断時の対応について

拝啓 貴下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊工業会の活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

近年 LPWA の普及にともないガスメーターと集中監視システムとの連動が広がっています。集中監視システムの機能の 1 つとして、強制的にガスメーターを遮断させる「センター遮断」がありますが、何らかの理由で「センター遮断」を行ったと思われるガスメーターが故障品としてガスメーターメーカーに戻される事案が発生しています。

このため、当該事象で戻されるガスメーターを減らす対応につきまして以下に記載いたしますので、「ガスが使えない」とお客様から連絡があった場合の調査を行う際の確認の一助となれば幸いです。

【調査に至る想定経緯例】

- ① 集中監視システムなどより何らかの理由で「センター遮断」を実施
- ② (その後、「センター遮断」したまま他物件に移設など)
- ③ 移設先で復帰ボタンを押してもガスメーターが復帰できないため、故障品としてガスメーターメーカーへ調査を依頼

経緯例は上記のようになります。原因は集中監視システムより「センター遮断」電文を送信後、「復帰許可」電文を送信していないことによるものです。「復帰許可」電文を受け付けていないガスメーターは復帰ボタンが有効になっていないため、復帰できません。

この状態でテスト遮断を実施しますと表示は後事象優先になるため「テスト遮断」表示になり、復帰ボタンを押しても無効のため、復帰できない状態となります。

その後、再度テスト遮断を行うとスリープモードへ移行し、復帰ボタンが有効になっていないため、そのままスリープ状態になります。以降は何回テスト遮断してもスリープモードへ移行します。

(遮断時の表示イメージを参考として裏面に添付します。)

また、センターからは遮断履歴で「センター遮断」を実施したかの確認ができます。(「センター遮断」後に「テスト遮断」を実施した場合は最新の遮断履歴は「テスト遮断」になります。)

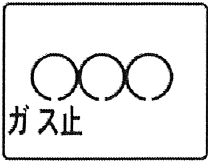
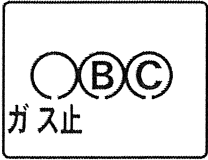
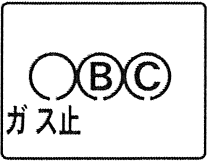
復帰ボタンを押してもガスメーターが復帰できない場合は、まずは表示もしくは遮断履歴を確認して頂き、「センター遮断」表示もしくは最新の遮断履歴に「センター遮断」の履歴がある場合は「復帰許可」電文を当該ガスメーターへ送るようにしてください。

LP ガス関係各位に於かれましては、需要家様が安心かつ快適にガスを使っていただけるよう、ガスメーターの各種機能を適切にご活用いただけますようお願い申し上げます。

敬具

別添2

【参考資料】

事象	表示	
	液晶	L E D
センター遮断		消灯
テスト遮断		点滅 (24 時間経過後 消灯)
テスト遮断後に再度テスト遮断 (2 分経過後スリープモードになる)	 ※文字点滅(丸枠点灯)	点滅
スリープモード		消灯